



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

REACH OUT...

手をさし伸べよう...  
R.I 会長 クレム・レスーフ

第 19 回 例会 1978 年 10 月 29 日 (日) 雨 第25号

### 出席報告

出席者	欠席者	出席率	前回の出席率
25 名	17 名	80,9 %	100 %
欠席者 藤田, 郡司, 小菅, 須藤			

矢野会長テーマ 友情の輪をひろげよう

司会 佐藤 会長 代行

### 第一回家族会

於 箱根

### ゲスト

星 特別代表

### ヒンター

会員御家族 (敬称略)

淡谷しげ子, 淡谷裕見子, 淡谷美和, 山崎桂子, 山崎美紀, 山崎祿, 伊藤祐二, 亀谷はま子, 北砂安子, 松本洋, 松本剛, 中西慶太, 佐藤智子, 寺田久子, 富沢千鶴子, 富沢久寿, 土屋ゆき子, 土屋大輔, 土屋英輔, 土屋美津子, 辻小百合, 辻あゆみ。

### 会長報告

佐藤会長代行

。明年 4 月 22 日, 当クラブのチャーターナイトを行います。この行事は我々だけでなく, 御夫人方の御協力を頂かなければ出来ません。ぜひ成功させるためによりしく御協力下さい。

### 幹事報告

。来る 11 月 10 日 (金) 午後 6 時より, チャーターナイトの会場下見をし乍ら夕食の会を行います。本日は幸い奥様方もおられますので, 参加人員の確認をしたいと存じます。ぜひ奥様方のご出席をお願いします。

### 委員会報告

親睦活動委員会 猪熊委員長

。本日は次の方々のお祝がございます。  
創業記念日 淡谷先彦君 (11月1日)  
結婚記念日 袴田和雄君 (11月3日)

星 特別代表挨拶

私は大和 R.C から出向社員の様な形で大和中 R.C. に来ております。創立後一年間当クラブのお世話をさせて頂くことになっております。

本日のプログラム (11月9日)

イニシエーションスピーチ 佐藤君, 大高君

次週予定 (11月16日)

「ロータリー財団について」 谷口栄氏

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央 1-5-40  
及び 大和市商工会館内  
例会場 電話 0462 (63) 7926

例会日 : 毎週木曜日 12 時 30 分より  
会長 : 矢野 久元 副会長 : 蜂屋 良平  
幹事 : 長谷川 清一 会報委員 : 土屋 郡司

11月10日の基地に於ける懇談会は4月22日のチャーターナイトの会場下見を兼ねての催しですので是非ご家族の方々のご参加をお願いします。会場を見ておくことは非常に重要です。準備をする場合も会場を下見しておきませんと何かと不便な事があります。日常気軽に下見出来る会場ではありませんので、もう一度お考え頂きこの機会に是非ご参加頂きますようお願い致します。

### 第一回家族会報告

親睦活動委員会のお世話により、第一回家族会は22名のご家族の参加を得て行なわれました。当日は生憎朝から小雨が降る肌寒い日となりましたが、午前8時、大和市役所駐車場に全員が元気に集合、一路目的地箱根に向けて出発しました。

バスが国道246号バイパスに入ると間もなく、親睦委員の辻会員が会員、家族全員の紹介を開始、前日寝ないで考えたという各会員のプロフィールを折り込んだ大変愉快な紹介で、初めて顔を



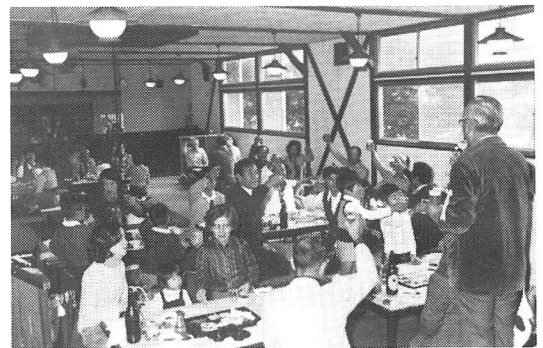
合せた家族の緊張した雰囲気も一挙になごやかなものになり、車内に笑いの禍がまきおこった。

雨天のせいもあり道中は渋滞もなく、予定より早く箱根湯本に到着。空もようは時々明るくなり、雨も降ったり、止んだりの状態。猪熊親睦委員長以下各委員が現地へ走り、実地調査の結果、アスレチックを決行することになる。各委員にセッケンが渡され、運動着に着がえたところで雨が又降り出す。しばらく様子を見て、辻会員の合図でスタート。子供達の元気な声が静けさを破って森林へこだまする。

一部の方々にはアスレチックを見せし休憩所で懇談。(?! ) スタートして約一時間程して北砂会員御夫妻がゴール、それから30分のうちに出発した全員が雨にも負けず無事ゴールした。

小休止の後、例会場予定の“山里”へ向い、到着後、男性は次々と露天風呂へ。汗を流してサッパリとしたところで、12時より例会開始。

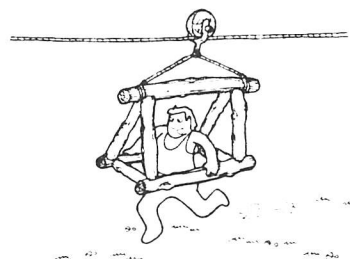
どうやら私達は例会に慣れて来たものゝご家族の方が経験されるのは初めてとあって、小さな子供達も声一つ立てずに見守る(ちょっと不思議そ



うに……) 形通りの例会が約20分で終了、懇談会に入る。用意されたのは鉄板焼料理、そこゝで美味しそうな香りがたゞよう。一同満腹になったところで全員で記念撮影をし、湯本から電車で彫刻の森へ向う。電車の中からは虹も見え、雨が止むのかと期待したが結局風雨は逆に強くなり、せっかく入場した彫刻の森では思う様に芸術観賞も出来ずじまい。午後4時、バスは箱根をあとに帰路につく。

車中で全会員が自慢の“のど”を披露し乍ら予定より30分程遅れて無事大和へ到着。

親睦委員会のキメ細かなお世話により、雨天でしたが大変に楽しい家族会の一日でした。役員の皆様どうもご苦勞様でした。



# Charter Member's Profile



## 猪熊会員

今週は家族会で大変にお世話になりました親睦活動委員長の、猪熊会員をご紹介します。家族会の翌日、前日とは違って変っての秋晴れ、「昨日がこんなお天気ならなー」と青空を見上げて残念そうにしているところへお邪魔しました。

—昨日はどうぞご苦労様でした。お疲れになられたでしょう……？

「いやア、正直言って雨にたゞられ全く残念です。お天気ならもう少しいろんなメニューもあったんですが……。」

—しかし大変に楽しい家族会でしたが……。

「松本副委員長さんはじめ各委員の方々が協力して下さいましたので……。今回の行事にあたり各委員毎に分担を決めまして、それぞれがすべての力を出し合ったつもりです。又皆様のご協力も頂いたので何とか無事に出来ました。しかし雨ばかりはどうしようもありません。今回の事が二回目、三回目に影響しなければ良いんですが……。」

—ふり返ってみてのご感想は……？

「バスを利用する場合、バス代に費用の大半がかかってしまいます。この点を何とか解決する良い方法が無いものかと、頭が痛いですね。それから家族会ですからやはり奥様、お子様達を中心とした行事として考えなければいけません。ご家族の方々にロータリーを理解して頂くためにも、良いアイデアを考えて次回に望むつもりです。」

猪熊唯夫、大正14年生まれ、厚木市出身、53才。御父君が大正14年に厚木で「古綿打返所」を創業。ご長男猪熊さんは小学校を出て横浜簿記学校へ行かされ、2年後店の手伝いとして御父君の下で修業。昭和27年、総合寝具店として大和に開業今日に至る。厚木は本店として工場と外廻り専門の営業所がある。

—ところで本題に入って、R.C.について……？

「大分以前からライオンズ、ロータリー両方からお誘いを受けておりましたが、最近漸く子供に店の方も任せられるようになり、そろそろ入会しても良いかと考えておりましたので……。そんな訳で家族の理解もあります。出来るだけ永くお世話になりたいと思っております。」

—先日横浜田園のチャーターナイトに出席されてのご感想はいかがですか……？

「卒直に言ってチャーターナイトの概要がつかめて良かったと思います。力を合せてやれば今の中クラブでしたら別に大変な事ではない様に思えますが……。」

—今後のR.C.に望む事がありますか……？

「現在の雰囲気を持続すること、大和中クラブのカラーをこの雰囲気を出してゆけたら大変良いと思います。親睦委員をやっているから申す訳ではありませんが、私は常に“和”というものを強調しています。その中からいろんな事が生まれます。皆で仲良くやってゆきましょう。」

昨日の家族会では最後まで残って皆様のお帰りになるのを見守っていたという猪熊さん。帰り際に星特別代表から「今日の家族会は大変素晴らしいですよ。」とお誉の言葉を頂いたそうです。本当にご苦労様でした。第二回、三回目の家族会もよろしく願います。

(土屋会報委員)

## 国際ロータリー事務総長の書翰より

### 親愛なるロータリアン各位。

1) ロータリーは数限りない奉仕の機会をもたらします。けれど、どんな奉仕の機会でも、実行されなければ効果はないのです。ロータリアンは行動の人であり、その行いをもって、世に知られている人達です。その行いは、近所の身心障害児を援助することから、遠く海を隔てた国の災害罹災者へ救済の手をさし伸べることに至るまで、非常に広い範囲に及びます。

ロータリアンがこのように奉仕しようとするのは、一般社会の賞讃を得るためではなく、真の友愛の心をもって、無私無欲の手をさし伸べるのにはかありません。このように真心からの手をさし伸べることが、分離している今日の世界を一つに結びつけるのであります。クレム・レヌーフ会長は、この奉仕への挑戦がありふれた理念ではないことを指摘しておられます。会長は、全ロータリアンが全力を尽し、他と相違することを恐れず実行することを力説されました。この相違が、しばしば、ロータリアンであることを立証しているのであります。

2) 19世紀のアメリカの随筆家、ヘンリー、ディビット、ソローは、彼の名著「森の生活」の中で、「もしもある人が仲間の人達と歩調を合わせないとしたら、多分、彼には、みんなのとは相違する鼓手のかなでる音が聞えるからだろう。彼には、彼が聞いている音楽に歩調を合わせさせてやればよい。それがどんな調子であっても、又、遠くからの音楽であっても。」と書いています。ロータリアンは、主として奉仕のアイディアとその行いによる、ロータリアン独自の音楽に調子を合わせて歩みます。闘争未開発、疾病、また、時には失望と混乱によって、ゆり動かされている世界にあって、ロータリアンは、多くの人々の生活を絶望の底に追い込む、これらの問題解消のため、各種各様の方法をもって活動しています。

3) レノフ会長が1978年国際協議会での講演に用いられた比喻の一つは「波」でした。会長の出

身地、オーストラリアのクイーンズランドの海岸で、多くの若者達が、「巨大な大洋の波に対してその技を競いながら……」波乗りを楽しみます。会長はこの光景から意味深い事柄に気付かれたのです。「これらの若人が必ずしも同じ波を利用しないということですから……みんな波頭の崩れる向う側に出て、自分の波……海岸に向かって運んでくれるような波……を待っているのです。……」各ロータリアンが自分の音楽に歩調を合わせ、或いは自分の波を見出して活動するように従い、ロータリアンは、レノフ会長が言っておられるように「ロータリーのプログラムの幅広さと深さと力強さの認識を深め……」つゝ自分に最も適した部門を見出していくのであります。

## スマイルBOX

佐藤会員、会長代理の代理では困ります。早く良くなる様に祈ってます。

亀谷会員、クラブ協議会、患者重症で失礼しました。皆様にお世話おかけして申し訳ありません。

富沢会員、親睦委員の皆さんの献身的な御努力に感謝致します。ありがたく、楽しい家族会が出来ました事を、本当にうれしく思います。

淡谷会員、開業祝ありがとうございます。

袴田会員、誕生祝いと結婚記念日と続いて御祝い戴き嬉しく存じます。益々張り切って頑張ります。

### 編集後記

今週は家族会の為、卓話が無かった。代りに家族会報告記事。どこへ行っても何があっても書かされる役目。でも今週は書いていても楽しい。露天風呂に入るのは何年ぶりだろう実に気分がいい。寺田会員曰く「長い時間入っていても頭が冷やされているからのぼせなくていい……。」こんな会話を思い出して乍ら書く原稿は疲れない。ロータリーに入って良かったな、と思うひとときである。(NRZ)